

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	工業技術センター・テクノサポート岡山		所在地	岡山市北区芳賀5301									
敷地面積	54,855.28 m ²		棟数	8 棟 (計画記載対象 8 棟)									
延床面積	20,263.82 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象									
設置目的	工業技術センター:工業に関する相談指導、研究、試験等を行い、工業の生産技術の向上とその成果の普及を図る。 テクノサポート岡山:高度な工業技術に関する研究を支援し、研究者等の交流を促進することにより、県内における工業技術の向上を図る。												
【想定される自然災害】													
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">予想震度 6弱</td> <td style="text-align: center;">津波</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">浸水</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>							予想震度 6弱	津波	-	浸水	-		
予想震度 6弱	津波	-	浸水	-									
建築規制	市街化調整区域 建ぺい率60%、容積率200%												
エネルギー使用量 (2017年度)	電気	ガス	水道	燃料	(-)								
	3,313,440 kwh	70,018 m ³	7,177 m ³	-	0								
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし												

1 施設内建物の概況

名 称	本館棟	実験棟(1)	実験棟(2)
築年(西暦)	1995年	1995年	1995年
構 造	鉄筋コンクリート造 地上4階 地下1階	鉄骨 造 2 階	鉄骨 造 2 階
建築面積	3,981.20 m ²	1,206.73 m ²	500.64 m ²
延床面積	13,737.37 m ²	1,722.97 m ²	972.84 m ²
主要な用途 (室名等)	実験室 42室 2,633 m ² 執務室 9室 1,300 m ² 事務室((公財)岡山県産業振興財団等)	実験室 13室 1,108 m ² 電気室 1室 63 m ²	実験室 9室 646 m ²
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備 昇降機 電話交換機 ゴンドラ	電力設備(受変電設備) 空調設備 消火設備	空調設備 消火設備 昇降機
利用状況	中	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※2 ※耐震診断済のみ			
	長期使用の 適否	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	実験棟(3)	別棟	マイクロものづくりセンター
築年(西暦)	1995年	1995年	2005年
構造	鉄筋コンクリート造 1階	鉄筋コンクリート造 1階	鉄骨造 2階
建築面積	466.37 m ²	440.36 m ²	163.15 m ²
延床面積	446.97 m ²	423.75 m ²	269.39 m ²
主要な用途 (室名等)	実験室 6室 445 m ²	倉庫 9室 292 m ²	実験室 103 m ² 執務室 15 m ² 会議室 34 m ²
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 消火設備	消火設備 廃水処理設備	空調設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 \geq 0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	交流棟	研修棟
築年(西暦)	1995 年	1995 年
構 造	鉄筋コンクリート造 1 階	鉄筋コンクリート造 1 階
建築面積	1,619.57 m ²	1,173.27 m ²
延床面積	1,499.92 m ²	1,190.61 m ²
主要な用途 (室名等)	レストラン 交流サロン 展示室	会議室 5室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備 消火設備
利用状況	高	中
耐震性 ※1	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	
	中性化 ※3	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

劣化が進んでいる設備等について順次更新等を行う。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
本館棟	劣化が進んでいる設備等について順次更新等を行う。
実験棟(1)	劣化が進んでいる設備等について順次更新等を行う。
実験棟(2)	劣化が進んでいる設備等について順次更新等を行う。
実験棟(3)	劣化が進んでいる設備等について順次更新等を行う。
別棟	劣化が進んでいる設備等について順次更新等を行う。
マイクロものづくりセンター	劣化が進んでいる設備等について順次更新等を行う。
交流棟	劣化が進んでいる設備等について順次更新等を行う。
研修棟	劣化が進んでいる設備等について順次更新等を行う。

